

平成 22 年国勢調査結果速報

札幌市の人口

－要計表による人口－

札幌市市長政策室政策企画部企画課

利用にあたって

- 1 本書に掲げる平成22年国勢調査の数値は、調査書類として区から提出された市区町村要計表（国勢調査員が調査の過程で作成した調査世帯一覧から作成した集計表）に基づき本市が独自に集計したものであり、後日、総務省統計局が公表する要計表による速報、23年秋以降に公表する確定数とは必ずしも一致しない。
- 2 数値の単位未満等は四捨五入を原則としたため、合計数値とその内訳の累計値とは一致しない場合がある。
- 3 摘要表および統計表中で使用した符号は、次のとおりである。
 - 「－」 …… 皆無、もしくは該当数値のないもの
 - 「△」 …… 負数もしくは減少

札幌市市長政策室政策企画部企画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話 011-211-2192 FAX 011-218-5109

<http://www.city.sapporo.jp/toukei/>

1 札幌市の人口

(1) 人口の推移

平成22年10月1日現在の札幌市の人口は1,914,434人（第1表、第1図）

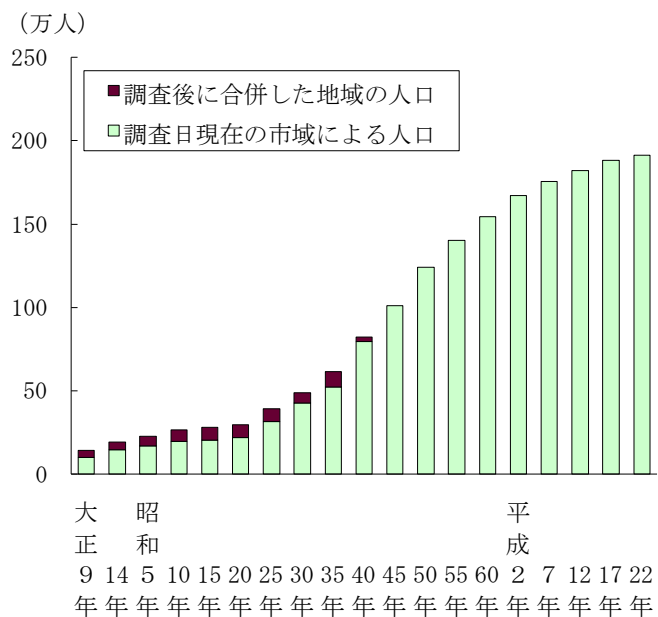
平成22年10月1日現在の札幌市の人口は1,914,434人で、前回調査の17年に比べて、33,571人増加（1.8%増）したが、増加率は過去最低となった。

人口の推移をみると、昭和45年に1,010,123人と100万人を突破して全国8番目の百万都市となり、47年に政令指定都市へ移行した。

50年代に入ると、景気の停滞などにより社会増加が縮小し、人口増加規模は縮小傾向を示しているものの、60年（1,542,979人）に京都市を抜いて全国5番目の大都市となった。

60年以降は、出生率の低下などにより、人口増加数の縮小傾向、人口増加率の低下傾向は続いているものの、人口は依然として増加を続けており、平成22年は1,914,434人と190万人を突破した。

第1図 札幌市の人口の推移
（各年10月1日現在）



注：第1表参照

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

第1表 札幌市の人口の推移

年次	各年10月1日現在			
	調査日現在の市域による人口	現市域による組替人口	調査日現在の市域	
			増加数	増加率 (%)
大正 9年	102,580	144,630	—	—
14年	145,065	194,726	42,485	41.4
昭和 5年	168,576	227,755	23,511	16.2
10年	196,541	264,304	27,965	16.6
15年	206,103	281,758	9,562	4.9
20年 1)	220,139	296,053	14,036	6.8
25年	313,850	393,756	93,711	42.6
30年	426,620	487,391	112,770	35.9
35年	523,839	615,628	97,219	22.8
40年	794,908	821,217	271,069	51.7
45年	1,010,123	1,010,123	215,215	27.1
50年	1,240,613	1,240,613	230,490	22.8
55年	1,401,757	1,401,757	161,144	13.0
60年	1,542,979	1,542,979	141,222	10.1
平成 2年	1,671,742	1,671,742	128,763	8.3
7年	1,757,025	1,757,025	85,283	5.1
12年	1,822,368	1,822,368	65,343	3.7
17年	1,880,863	1,880,863	58,495	3.2
22年 2)	1,914,434	1,914,434	33,571	1.8

注：1) 人口調査（11月1日）の数値である。 2) 「平成22年国勢調査」の本市独自集計（要計表による集計）結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

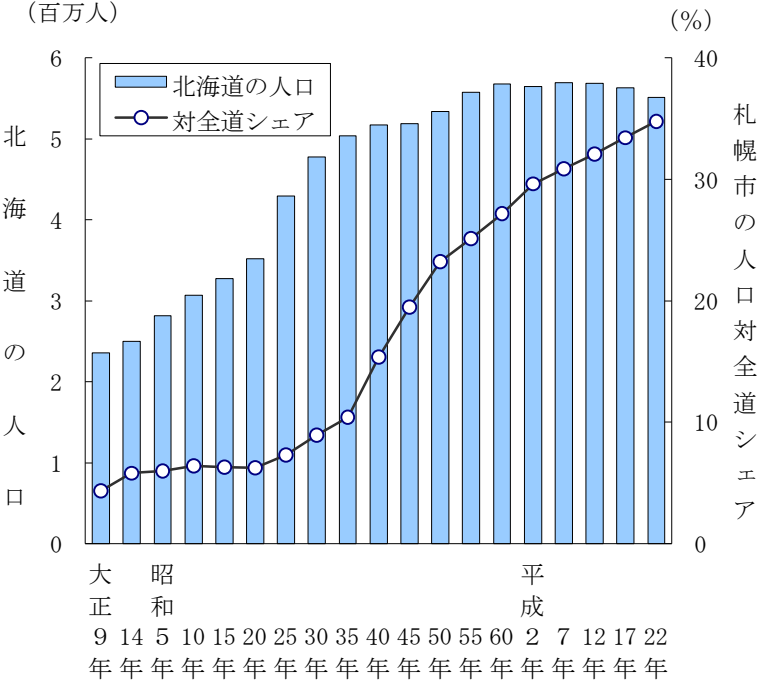
札幌市の人口の対全道シェアは年々高まっており、平成22年は34.8%（第2表、第2図）

平成22年10月1日現在の北海道の人口は5,507,456人で、17年に比べて120,281人の減少（減少率2.1%）となっている。

札幌市の人口の対全道シェア（北海道に占める札幌市の人口の割合）は34.8%で、17年に比べて1.4ポイント上昇した。

対全道シェアの推移をみると、昭和45年は19.5%であったが、55年は25.1%と北海道の人口の4分の1を超え、平成7年は30.9%となって30%を超えた。17年は33.4%となって北海道の人口の3分の1を占め、22年は34.8%となった。

第2図 北海道の人口及び札幌市の人口対全道シェア（各年10月1日現在）



注： 第2表参照。
＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局統計課、市長政策室政策企画部企画課

第2表 札幌市の人口対全道シェア

年次	人 口		各年10月1日現在
	対全道シェア (%)		(A)/(B)
	札幌市 (A)	北海道 (B)	
大正 9年	102,580	2,359,183	4.3
14年	145,065	2,498,679	5.8
昭和 5年	168,576	2,812,335	6.0
10年	196,541	3,068,282	6.4
15年	206,103	3,272,718	6.3
20年 1)	220,139	3,518,389	6.3
25年	313,850	4,295,567	7.3
30年	426,620	4,773,087	8.9
35年	523,839	5,039,206	10.4
40年	794,908	5,171,800	15.4
45年	1,010,123	5,184,287	19.5
50年	1,240,613	5,338,206	23.2
55年	1,401,757	5,575,989	25.1
60年	1,542,979	5,679,439	27.2
平成 2年	1,671,742	5,643,647	29.6
7年	1,757,025	5,692,321	30.9
12年	1,822,368	5,683,062	32.1
17年	1,880,863	5,627,737	33.4
22年 2)	1,914,434	5,507,456	34.8

注： 1) 人口調査（11月1日）の数値である。 2) 「平成22年国勢調査」の要計表による集計結果であり、札幌市は札幌市独自集計、北海道は北海道独自集計による。
＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、北海道総合政策部地域行政局統計課、市長政策室政策企画部企画課

(2) 世帯数及び世帯規模

平成22年10月1日現在の世帯数は886,338世帯（第3表、第3図）

平成22年10月1日現在の札幌市の世帯数は886,338世帯で、17年に比べて、48,971世帯増加（5.8%増）した。

昭和55年国勢調査以降と50年国勢調査以前では定義が異なるため、55年以降について世帯数の推移をみると、55年の508,823世帯以降、世帯数は一貫して増加しており、平成22年は886,338世帯と、この30年間で1.5倍以上になっている。

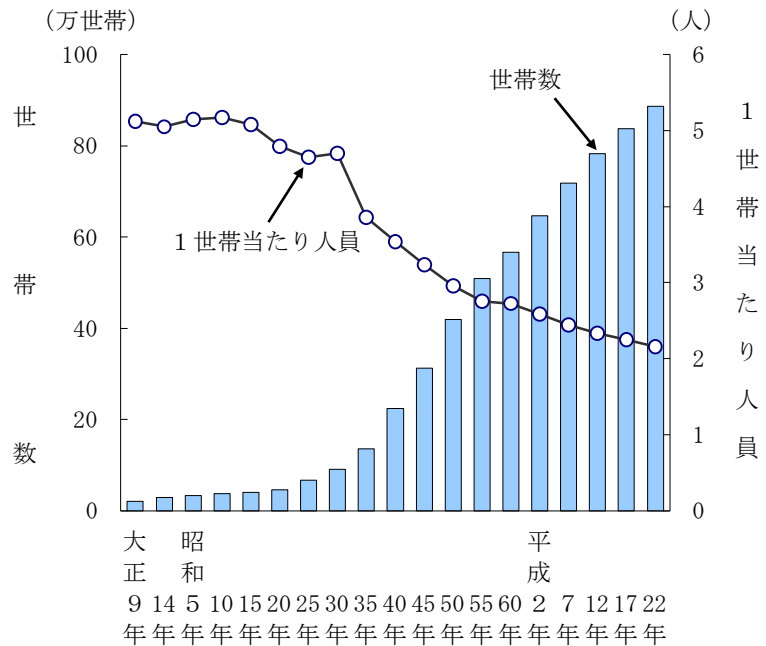
1世帯当たりの人員は2.16人（第3表、第3図）

平成22年10月1日現在の1世帯当たりの人員（以下、「世帯規模」という）は2.16人で、17年に比べて0.09人縮小した。

最近の推移をみると、昭和55年（2.75人）以降、世帯数の増加率が人口の増加率を上回っているため、世帯規模は年々縮小しており、平成22年は2.16人と国勢調査開始以来最も小さくなっている。

このように世帯規模が縮小しているのは、出生率の低下による1世帯当たり子ども数の減少、高齢者や若い世代を中心とする単身世帯や夫婦のみの世帯の増加などが要因として考えられる。

第3図 世帯数及び1世帯当たり人員の推移
（各年10月1日現在）



注：第3表参照。
<資料> 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

第3表 世帯数及び1世帯当たり人員の推移

調査日現在の世帯の定義による。

年次	世帯数			1世帯当たり人員	(参考)人口
	総数	増加数	増加率(%)		
大正9年	20,041	—	—	5.12	102,580
昭和14年	28,726	8,685	43.3	5.05	145,065
昭和5年	32,752	4,026	14.0	5.15	168,576
昭和10年	38,019	5,267	16.1	5.17	196,541
昭和15年	40,602	2,583	6.8	5.08	206,103
昭和20年 1)	45,899	5,297	13.0	4.80	220,139
昭和25年	67,492	21,593	47.0	4.65	313,850
昭和30年	90,764	23,272	34.5	4.70	426,620
昭和35年	135,783	45,019	49.6	3.86	523,839
昭和40年	224,681	88,898	65.5	3.54	794,908
昭和45年	312,234	87,553	39.0	3.24	1,010,123
昭和50年	419,475	107,241	34.3	2.96	1,240,613
昭和55年	508,823	89,348	21.3	2.75	1,401,757
昭和60年	566,287	57,464	11.3	2.72	1,542,979
平成2年	646,647	80,360	14.2	2.59	1,671,742
平成7年	718,473	71,826	11.1	2.45	1,757,025
平成12年	781,948	63,475	8.8	2.33	1,822,368
平成17年	837,367	55,419	7.1	2.25	1,880,863
平成22年 2)	886,338	48,971	5.8	2.16	1,914,434

注：1) 人口調査（11月1日）の数値である。2) 「平成22年国勢調査」の本市独自集計（要計表による集計）結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

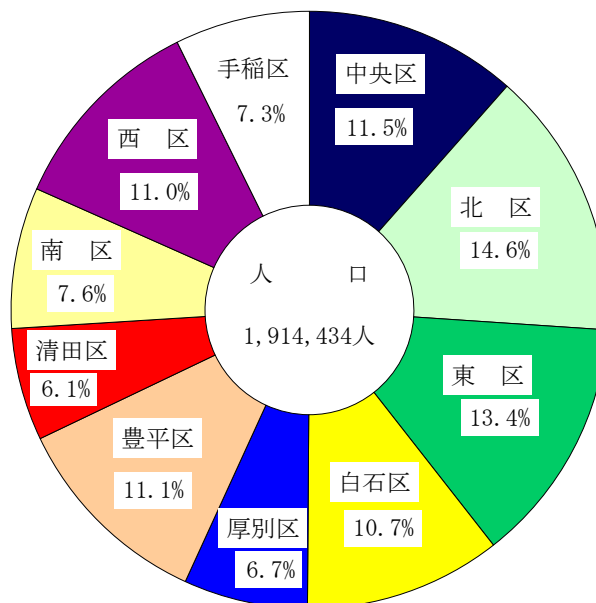
2 区別の人口

(1) 人口の推移

平成22年の区別人口は、北区が278,568人で最も多い(第4表、第4図)

平成22年10月1日現在の区別の人口をみると、北区が278,568人で全市(1,914,434人)の14.6%を占めて最も多く、以下、東区が255,920人(13.4%)、中央区が220,404人(11.5%)、豊平区が212,180人(11.1%)、西区が211,439人(11.0%)、白石区が204,373人(10.7%)、南区が146,394人(7.6%)、手稲区が139,790人(7.3%)、厚別区が128,593人(6.7%)、清田区が116,773人(6.1%)の順となっている。17年と22年の順位を比べると、中央区は、17年に5番目だったが、22年には豊平区及び西区を抜いて3番目となった。

第4図 区別人口の割合(平成22年10月1日現在)



注：第4表参照。
＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課

平成17～22年の人口増加数は、中央区が1万5千人を超えて最も多く、厚別区及び南区は減少(第4表)

平成17～22年の増加状況をみると、中央区が17,603人の増加(8.7%増)と1万5千人を超えて最も多く増加しており、次いで、北区が5,691人の増加(2.1%増)と5千人を超える増加となっている。以下、西区が4,110人の増加(2.0%増)、清田区が3,990人の増加(3.5%増)、白石区が3,066人の増加(1.5%増)、豊平区が2,752人の増加(1.3%増)、手稲区が2,189人の増加(1.6%増)、東区が1,924人の増加(0.8%増)となっている。一方、厚別区は1,127人の減少(0.9%減)、南区は6,627人の減少(4.3%減)となっている。

12～17年は、南区が増加から減少に転じ、17～22年では、厚別区も増加から減少に転じた。一方で、中央区は1万5千人以上の増加数となっており、区ごとの差が大きくなっている。

第4表 区別人口の推移

区	各年10月1日現在						
	人 口 1)			増 加 数		増 加 率 (%)	
	平成12年	17年	22年 2)	12～17年	17～22年 2)	12～17年	17～22年 2)
全 市	1,822,368	1,880,863	1,914,434	58,495	33,571	3.2	1.8
中 央 区 ⑥	181,383	⑤ 202,801	③ 220,404	21,418	17,603	11.8	8.7
北 区 ①	260,114	① 272,877	① 278,568	12,763	5,691	4.9	2.1
東 区 ②	248,950	② 253,996	② 255,920	5,046	1,924	2.0	0.8
白 石 区 ⑤	197,223	⑥ 201,307	⑥ 204,373	4,084	3,066	2.1	1.5
厚 別 区 ⑨	127,718	⑨ 129,720	⑨ 128,593	2,002	△ 1,127	1.6	△ 0.9
豊 平 区 ③	204,700	③ 209,428	④ 212,180	4,728	2,752	2.3	1.3
清 田 区 ⑩	110,102	⑩ 112,783	⑩ 116,773	2,681	3,990	2.4	3.5
南 区 ⑦	156,787	⑦ 153,021	⑦ 146,394	△ 3,766	△ 6,627	△ 2.4	△ 4.3
西 区 ④	199,385	④ 207,329	⑤ 211,439	7,944	4,110	4.0	2.0
手 稲 区 ⑧	136,006	⑧ 137,601	⑧ 139,790	1,595	2,189	1.2	1.6

注：1) ○内の数字は、10区中の順位である。 2) 「平成22年国勢調査」の本市独自集計(要計表による集計)結果である。

＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

(2) 世帯数及び世帯規模

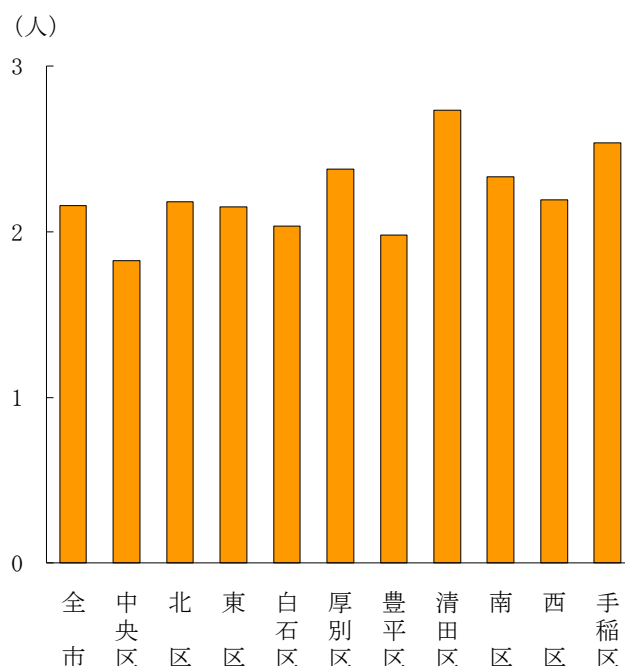
平成22年の区別世帯数は、北区が127,734世帯で最も多い（第5表）

平成22年10月1日現在の区別の世帯数をみると、北区が127,734世帯で最も多く、以下、中央区が120,704世帯、東区が119,041世帯、豊平区が107,233世帯、白石区が100,445世帯、西区が96,467世帯、南区が62,806世帯、手稲区が55,078世帯、厚別区が54,093世帯、清田区が42,737世帯となっている。

世帯数と人口の順位を比べると、中央区及び白石区は、人口より世帯数の順位が上回っているが、東区及び西区は、人口より世帯数の順位が下回っている。

17～22年の増加状況をみると、中央区が12,269世帯の増加（11.3%増）と1万世帯を超えて最も多く増加しており、以下、北区が6,924世帯の増加（5.7%増）、西区が6,674世帯の増加（7.4%増）などとなっているが、南区は1,314世帯の減少（2.0%減）で10区中唯一の減少となっている。

第5図 区別1世帯当たり人員
（平成22年10月1日現在）



注： 第5表参照。
＜資料＞ 市長政策室政策企画部企画課

世帯規模は中央区が1.83人、豊平区が1.98人と、2区で2人を割っている（第5表、第5図）

区別の世帯規模をみると、清田区が2.73人で最も大きく、以下、手稲区が2.54人、厚別区が2.38人、南区が2.33人、西区が2.19人、北区が2.18人、東区が2.15人、白石区が2.03人と続き、豊平区と中央区は2人を割っており、それぞれ1.98人、1.83人となっている。最も大きい清田区と最も小さい中央区を比べると0.90人の差が生じている。

第5表 区別世帯数、人口及び1世帯当たり人員

区	各年10月1日現在							
	世帯数 1)		人口 1)		1世帯当たり人員		世帯数の増加状況 2)	
	平成17年	22年 2)	17年	22年 2)	17年	22年 2)	増加数	増加率(%)
全市	837,367	886,338	1,880,863	1,914,434	2.25	2.16	48,971	5.8
中央区	③ 108,435	② 120,704	⑤ 202,801	③ 220,404	1.87	1.83	12,269	11.3
北区	① 120,810	① 127,734	① 272,877	① 278,568	2.26	2.18	6,924	5.7
東区	② 113,457	③ 119,041	② 253,996	② 255,920	2.24	2.15	5,584	4.9
白石区	⑤ 96,021	⑤ 100,445	⑥ 201,307	⑥ 204,373	2.10	2.03	4,424	4.6
厚別区	⑧ 51,837	⑨ 54,093	⑨ 129,720	⑨ 128,593	2.50	2.38	2,256	4.4
豊平区	④ 101,340	④ 107,233	③ 209,428	④ 212,180	2.07	1.98	5,893	5.8
清田区	⑩ 40,142	⑩ 42,737	⑩ 112,783	⑩ 116,773	2.81	2.73	2,595	6.5
南区	⑦ 64,120	⑦ 62,806	⑦ 153,021	⑦ 146,394	2.39	2.33	△ 1,314	△ 2.0
西区	⑥ 89,793	⑥ 96,467	④ 207,329	⑤ 211,439	2.31	2.19	6,674	7.4
手稲区	⑨ 51,412	⑧ 55,078	⑧ 137,601	⑧ 139,790	2.68	2.54	3,666	7.1

注： 1) ○内の数字は、10区中の順位である。 2) 「平成22年国勢調査」の本市独自集計（要計表による集計）結果である。

＜資料＞ 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課

第6表 区別世帯数・人口の推移

「国勢調査」による。現在の市（区）域に組替えた数値である。

各年10月1日現在											
年次	全市	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
世帯数											
昭和35年	156,651	63,961	15,147	19,037	17,257	1,230	20,362	427	6,736	10,386	2,108
40年	231,120	65,729	25,809	35,282	31,243	2,504	31,334	1,281	14,674	20,023	3,241
45年	312,234	69,652	42,357	49,901	39,194	6,825	41,517	2,747	22,291	31,015	6,735
50年	419,475	76,209	59,891	67,312	47,854	13,441	55,449	7,387	32,809	46,259	12,864
55年	508,823	78,339	72,945	77,697	57,924	20,118	68,742	12,165	42,646	57,807	20,440
60年	566,287	78,398	80,192	81,204	66,059	27,699	76,660	17,942	47,541	64,415	26,177
平成2年	646,647	83,838	91,499	88,955	78,658	37,576	83,416	25,310	51,585	70,447	35,363
7年	718,473	86,685	103,814	99,211	86,212	44,091	88,770	32,582	57,158	76,425	43,525
12年	781,948	94,210	111,448	108,132	91,494	48,759	97,557	37,939	60,955	82,758	48,696
17年	837,367	108,435	120,810	113,457	96,021	51,837	101,340	40,142	64,120	89,793	51,412
22年 1)	886,338	120,704	127,734	119,041	100,445	54,093	107,233	42,737	62,806	96,467	55,078
人口											
昭和35年	615,628	233,250	57,959	86,346	67,134	5,844	74,746	2,369	34,984	43,223	9,773
40年	821,217	221,892	84,563	124,894	110,329	11,751	110,629	5,457	60,804	76,516	14,382
45年	1,010,123	205,388	127,647	160,723	132,693	24,789	131,646	10,767	83,933	107,774	24,763
50年	1,240,613	195,094	167,915	195,682	148,139	47,505	157,835	26,607	110,020	147,745	44,071
55年	1,401,757	181,806	195,370	213,310	161,066	66,995	177,095	41,235	128,845	169,224	66,811
60年	1,542,979	180,845	212,508	224,539	175,292	88,646	189,885	60,071	141,743	184,306	85,144
平成2年	1,671,742	179,184	230,918	232,999	188,043	112,623	195,907	81,894	148,393	190,807	110,974
7年	1,757,025	173,358	251,419	241,319	192,102	122,738	196,126	100,521	155,650	194,308	129,484
12年	1,822,368	181,383	260,114	248,950	197,223	127,718	204,700	110,102	156,787	199,385	136,006
17年	1,880,863	202,801	272,877	253,996	201,307	129,720	209,428	112,783	153,021	207,329	137,601
22年 1)	1,914,434	220,404	278,568	255,920	204,373	128,593	212,180	116,773	146,394	211,439	139,790
人口増加数											
35～40年	205,589	△11,358	26,604	38,548	43,195	5,907	35,883	3,088	25,820	33,293	4,609
40～45年	188,906	△16,504	43,084	35,829	22,364	13,038	21,017	5,310	23,129	31,258	10,381
45～50年	230,490	△10,294	40,268	34,959	15,446	22,716	26,189	15,840	26,087	39,971	19,308
50～55年	161,144	△13,288	27,455	17,628	12,927	19,490	19,260	14,628	18,825	21,479	22,740
55～60年	141,222	△961	17,138	11,229	14,226	21,651	12,790	18,836	12,898	15,082	18,333
60～2年	128,763	△1,661	18,410	8,460	12,751	23,977	6,022	21,823	6,650	6,501	25,830
2～7年	85,283	△5,826	20,501	8,320	4,059	10,115	219	18,627	7,257	3,501	18,510
7～12年	65,343	8,025	8,695	7,631	5,121	4,980	8,574	9,581	1,137	5,077	6,522
12～17年	58,495	21,418	12,763	5,046	4,084	2,002	4,728	2,681	△3,766	7,944	1,595
17～22年	33,571	17,603	5,691	1,924	3,066	△1,127	2,752	3,990	△6,627	4,110	2,189
人口増加率（％）											
35～40年	33.4	△4.9	45.9	44.6	64.3	101.1	48.0	130.4	73.8	77.0	47.2
40～45年	23.0	△7.4	50.9	28.7	20.3	111.0	19.0	97.3	38.0	40.9	72.2
45～50年	22.8	△5.0	31.5	21.8	11.6	91.6	19.9	147.1	31.1	37.1	78.0
50～55年	13.0	△6.8	16.4	9.0	8.7	41.0	12.2	55.0	17.1	14.5	51.6
55～60年	10.1	△0.5	8.8	5.3	8.8	32.3	7.2	45.7	10.0	8.9	27.4
60～2年	8.3	△0.9	8.7	3.8	7.3	27.0	3.2	36.3	4.7	3.5	30.3
2～7年	5.1	△3.3	8.9	3.6	2.2	9.0	0.1	22.7	4.9	1.8	16.7
7～12年	3.7	4.6	3.5	3.2	2.7	4.1	4.4	9.5	0.7	2.6	5.0
12～17年	3.2	11.8	4.9	2.0	2.1	1.6	2.3	2.4	△2.4	4.0	1.2
17～22年	1.8	8.7	2.1	0.8	1.5	△0.9	1.3	3.5	△4.3	2.0	1.6

注：1）「平成22年国勢調査」の本市独自集計（要計表による集計）結果である。

<資料> 総務省統計局「国勢調査」、市長政策室政策企画部企画課